

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	彩浜館管理運営事業	会計名称	一般会計		担当課	経済雇用戦略課	
		予算科目	7 款 1 項 5 目	事業番号	3240	所属長名	大谷基文
事業評価の有無	☒ 評価対象事業 ☐ 評価対象外事業（事業の概要・結果のみ）				担当責任者名	窪田春樹	
法令根拠等	伊予市彩濱館条例				実施期間	【開始】	平成 18 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造					【終了】	平成 年度(予定) ■ 設定なし
	賑わいのある観光の振興						
総合計画における本事業の役割	当施設の歴史的な背景をアピールして、郡中町並みへの導線をつくることにより観光振興を図る。						
事業の対象	市民及び一般		事業の目的	市民の福祉と利便に供するために市民が有効に活用を行う。			
事業の内容（整備内容）	施設の管理運営、貸館業務、ロビーでの展示活動		昨年度の課題に対する具体的な改善策	施設の老朽化が進んでいるが利用者に不便を来たさないよう計画的な維持修繕に努める。また、指定管理者制度の導入について検討を開始する。			

事業活動の内容・成果 (D0)

事業費及び財源内訳（千円）							事業活動の実績（活動指標）							
項目		前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目		単位	28 年度実績	29 年度予定	9月末の実績	29 年度実績
財源内訳	直接事業費	9,744	5,961	324	0	0	6,149	施設の利用回数	回	146	150	110	182	
	国庫支出金		0	0	0	0	0							
	県支出金		0	0	0	0	0	ロービー展回数	回	0	0	0	0	
	地方債		0	0	0	0	0							
	その他	464	590	0	0	0	563							
一般財源		9,280	5,371	324	0	0	5,586							
職員の人工（にんく）数		1.15	1.15				0.21							
1人工当たりの人件費単価		8,086	8,017				8,017							
※ 直接事業費÷人件費		19,043	15,181				7,833							
主な実施主体		直接実施（臨時職員2人・嘱託職員1人）		実施形態（補助金・指定管理料・委託料等の記載欄）										
向こう5年間の直接事業費の推移 （千円）						30 年度	31 年度	32 年度	33 年度	34 年度	5年間の合計			
						10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	50,000			
成果指標	指標	施設利用者数				単位	⇒	区分年度	28 年度	29 年度	30 年度	目標 毎 年度		
						人		目 標	5000	5000	5000	5000		
	指標設定の考え方	住民の福祉と利便に供する目的のもとに設置された施設であるため。						実 績	4936	6922				
	指標で表せない効果													

事務事業評価（CHECK）

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 （今年度の途中経過）			指定管理者制度の導入について具体的な検討に入るため、施設の維持管理経費の算出を行った。 近隣・類似施設として、さざなみ館と五色浜公園の統合的な指定管理の可能性についても検討を加えることとする。									
事業 業務 事業 業 												

施策を踏まえた判断	二次判定	☐	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒	指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		☐	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。		
		☒	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 市民・県民には施設の所在さえも知らない人が多いため、利用頻度の低調があるのではないかと危惧する。 五色浜球場、五色姫公園も近郊にあり、利用効率を高める意識を醸成するよう管理人と連携する。		
		☐	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。		
		☐	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。		

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容

今後の方向性（ACTION）

の経営 最終者 判断議	事業の方向性	コメント欄	
	☐	さらに重点化する。	二次判定の内容を踏まえ見直すこと。
	☐	現状のまま継続する。	
	☒	右記の点を見直しの上、継続する。	
	☐	事業の縮小を行う。	
	☐	事業の休止、廃止を行う。	